

一般的なプラスチックの耐熱性・耐薬品性

試験方法：ASTM-D570(1/8in板,24時間)

いずれも無応力状態での試験ですが、実際の成形品は残留応力の影響を受けますので考慮する必要があります。

種類	耐熱温度	弱酸	強酸	弱アルカリ	強アルカリ	油	アセトン	ベンゼン	アルコール	アルデヒド
高密度ポリエチレン	90~110	◎	△	◎	◎	○ (60℃ガソリン×)	×	×	◎	○
ポリプロピレン	100~120	◎	△	◎	◎	○	◎	◎	◎	○
ABS樹脂	70~100	◎	△	◎	◎	△ (ガソリン×)	×	×	△	△
硬質塩化ビニル樹脂 (ポリ塩化ビニル)	60~ 80	◎	○	注1)○	◎	○ (60℃ガソリン×)	×	×	◎	○
ポリアミド (ナイロン樹脂)	80~140	○	×	注1)○	○	○	◎	◎	△	◎
ポリカーボネート	120~130	◎	△	○	×	△ (ガソリン×)	×	×	△	×
アセタール樹脂 注2) (ポリアセタール)	120	△	×	△	×	○	◎	◎	◎	◎
フェノール	130~150	△	×	△	×	○	○	○	○	△

◎:安全 ○:ほぼ安全 △:一部危険 ×:危険(無応力)

注1) 水酸化カルシウム(セメント等)に侵される。

注2) ポリアセタール(ホモポリマ)での評価

注意事項

個々の製品の品質を保証するものではありません。

特殊透明ポリアミド(トロガミド)の耐薬品性

各溶剤中に23℃で6ヵ月浸漬して行いました。この試験は、応力のかからない状態での試験ですが、実際の成形品は残留応力の影響を受けますので考慮する必要があります。

アルコール類	アミン酸	ケトン、エステル、エーテル類
エチルアルコール	ヒドロキシアミン30%	アセトン
アリルアルコール	エチルアミン33%	エチルエーテル
n-ブチルアルコール	アニリン	ジイソブチルケトン
t-ブチルアルコール	飽和炭化水素類	酢酸エチル
エチレングリコール	n-ヘキサン	t-ブチルメチルエーテル
アミルアルコール	n-ヘプタン	アルカリ類
ブチレングリコール	イソオクタン	苛性ソーダ50%
1,3ブタンジオール	ガソリン	その他有機化合物
芳香族類	ガソリン(5%メタノール)	二硫化炭素
ベンゼン	灯油	アクリロニトリル
トルエン	シクロヘキサン	無機塩類
エチルベンゼン	パラフィンオイル	硫酸アルミニウム(sat.)
キシレン	アルデヒド類	炭酸アンモニウム(sat.)
有機酸類	ホルマリン	硝酸アンモニウム(sat.)
安息香酸(sat.)	ベンズアルデヒド	燐酸アンモニウム(sat.)
蟻酸(conc.)	塩素、フッ素含有化合物	硫化アンモニウム40%
酒石酸(sat.)	四塩化炭素	塩化カリ(sat.)
無機酸類	1,2-ジクロロエチレン	重クロム酸カリ(sat.)
硝酸10%	1,2-ジクロロエタン	
硝酸30%	1,2-ジクロロベンゼン	
硫酸10%	クロロホルム	
硫酸40%	トリクロロエチレン	

○:安定 △:条件付き ×:不安定

sat.:飽和溶液 conc.:濃縮